

科目名		病態制御内科学論文指導	
科目責任者	中山田 真 吾	(第1内科学 教授)	
担当者	久 保 智 史	(第1内科学 准教授)	
	宮 川 一 平	(第1内科学 講師)	
開講時期:	3～4年次	単位数:	6 単位
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>研究テーマについて結果が得られたら、指導教員のもと、及び、大学院生グループで、統計学的手法も用いて実験結果について討論し、問題点を明らかにする。その際、結果に基づき論文構成を意識した議論を行い、論文図表となる実験計画を組むことで、論文化への問題点を常に明らかにする。このような過程を繰り返して研究のまとめ方を学ぶ。論文執筆においては、実際に論文を書きながら、指導教員との議論、繰り返しの修正過程などの経験を通して、論文の構造・構成、記載法、さらに論文投稿・発表の倫理などを系統的かつ実践的に修得する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 研究の目的、対象、研究方法を簡潔に記載することができる。 2) 研究結果を統計学的手法を用いて的確に解析することができる。 3) 解析結果を論理的に明瞭に記述することができる。 4) 解析結果の問題点を明らかにすることができる。 5) 研究の問題点を解決するための研究計画を作成し実行できる。 6) 研究結果の医学分野における意義を考察し、記述することができる。 7) 研究結果の今後の展望を記述することができる。 8) 学術論文の構成と記載法、さらに論文投稿を実践的に遂行できる。 9) 論文査読の結果に迅速かつ適切に対応し、追加研究、論文修正ができる。 10) 利益共反を理解し公平な立場からの解析、検討、発表を実践する。 11) 国際的な発表の重要性を理解し、その実践に努める姿勢の重要性を理解する。 			
● 評価方法	発表等 60%、討論等 20%、レポート等 20%により総合的に評価する。		
● 参考文献	指導の中で必要に応じ紹介する。		